

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	老人福祉センター黒埼荘			
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	令和2年4月1日	～ 令和5年3月31日
担当課	西区健康福祉課			
所在地	新潟市西区緒立流通2丁目4番地1			
根拠法令	老人福祉法			
設置条例	新潟市老人デイサービスセンター条例			
施設概要	(1)開設月日：平成3年3月1日 (2)施設規模：鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積 6,474.97 m ² / 延床面積 1,373.65 m ² (3)施設内容：(本館)大広間、教養娯楽室(個室)6室、多目的ホール、浴室、事務室 (新館)浴室 (4)休館日：毎週月曜日、国民の祝日、5月4日、8月13日～15日、12月29日～1月3日 (5)開館時間：午前9時00分から午後4時30分まで			

施設設置目的
高齢者に対して、相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として、新潟市老人福祉センター(以下「センター」という。)を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 関係法令、条例、規則等を遵守し、施設の設置目的に沿った適正な管理を行う。 【重点課題】 ・関係法令、条例、規則及び業務仕様書に定める事項等の遵守 ・労働基準法、労働安全法その他の労働基準に関係する法令の遵守 ・施設の設置目的にふさわしく、かつ明確な運営 (2) 利用者が安心して利用できる体制を整備し、かつ平等な利用を確保する。 【重点課題】 ・利用者の安全確保(通常時・災害時とも)のための対策 ・事故発生時に適切な対応ができる体制の整備 ・トラブル防止策や苦情処理の方法と体制 ・責任体制(責任の所在、責任者常駐の有無等)の適切性 ・利用者の平等利用が確保でき、特定の者のみに有利にならない方策の具体的な提案 (3) 利用者が快適に施設を使用できるよう、施設、設備、備品等の維持管理を適正に行う。 【重点課題】 ・施設の建物・設備・備品等について良好な状態を保つ方策 (4) 利用者の意見、要望等を適切に施設の管理に反映し、サービスの向上に努める。 【重点課題】 ・施設の効用を最大限発揮させられる自主事業 ・施設利用者へのサービス向上を実現するための具体的な計画 ・利用者の意見(アンケート等)を実行に移すシステム作り ・適切な接客ができる体制 ・開館日や利用時間の変更への柔軟な対応 ・利用者数や利用者増加率等の具体的な目標設定 ・利用促進のために有効的なPR方法の提案 ・地域に根ざした愛される施設作りのための取組み ・地域・関係団体等との連携体制の推進 (5) 常に効果的かつ効率的な管理に努め、経費の節減を図る。 【重点課題】 ・管理運営経費の縮減が図られる管理計画 ・収支計画の妥当性

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	入場者数(年)	156,000人以上	62,965人	C	新型コロナ対策による利用制限により減少
	個室利用件数(年)	200件以上	3件	C	新型コロナ対策による利用制限により減少
	利用者満足度	利用者アンケートでの満足度80%以上	アンケート実施	C	新型コロナ対策による入浴制限が解除されず利用者の満足度が向上しなかった
	設置目的に合致したサービス提供	年間3回以上実施	予定するも実施出来ず	C	未達成
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対する5営業日以内の回答及び区への当日内の報告	回答・報告の漏れは無かった	A	実績のとおり
財 務	施設利用者1人当たり運営経費	260円以下	689円	C	指定管理料÷年間利用者
	施設1㎡当たりのランニングコスト	30,000円以下	30,214円	C	指定管理料÷延べ床面積(老福分)
	使用料収入額(年)	7,000,000円以上	2,059,200円	C	2カ月休館とウイルス感染症対応による減少
	光熱水費・委託料等の削減	電気・ガス・上下水道使用量削減と設備運転時間等の見直し	電気・水道・ガスの使用時間の短縮	A	水道光熱費の削減に努め効率の良い設備機器の使用に取り組み作業改善を行った。
業 務	事業計画・事業報告の適切さ	内容が適切、定められた期日までに提出	守られている	A	達成されている
	防災・避難訓練実施回数	年間2回以上実施	実施	A	達成されている
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	実施	A	達成されている
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	適切に対応	A	達成されている
人 材	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	職員研修を年2回以上実施	内部研修参加	A	達成されている
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	勤務時間の遵守・労働環境の整備	A	達成されている

【評価基準】

A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B：要求水準（評価指標）が達成されている

C：要求水準（評価指標）が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメ

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による、入浴時間制限及び入浴人数制限による入浴者数激減のため、本年度も施設利用者1人当たりの運営経費が指標を大きく上回る結果となった。施設管理面からは感染症対策として受付時のマスク着用、検温、手指消毒に重点を置き入館時での予防処置に努めた。レジオネラ感染症対策としては引き続き浴槽内の残留塩素濃度を基準値上限を目標値として高め設定とした。また月2回以上の温泉配管の塩素消毒、濾過機濾材の消毒でバイオフィルム形成防止に務めた。次年度は指定管理者が変更となるが、効率化を進めながらも引き続き利用者が安全に安心して利用できる施設運営に努めることを第一義とさせたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

併設されていたデイサービスセンターと同じ指定管理者であり、長期にわたる運用実績を持ち適切に運営が行われている。